合板製造業における死傷災害発生事例(2017年)

| 年 | 月 | 発生時 | 死傷災害発生事例 | 年齢 | 起因物(小) | 事故の型 | 働 |
|------|---|-----|---|----|--------|------|-----------------|
| 2017 | 1 | 8~9 | 集成材工場内、仕上げモルダーにて、刃物回転軸の駆動ベルトの張り調整をする際、完全に回転が停止する前に、回転が停止したと思い込み、回転している駆動ベルトを触ってしまい、ベルトに巻き込まれてしまった。 その際、リーダーが「まだ回転しているから触わるな」と伝えたが、この様な事故が起きてしまった。 | 32 | 121 | 7 | 30 ~ 49 |
| 2017 | 1 | 8~9 | ドライヤーアンローダーから方転コンベアに向かうところにある ロールの交換作業をしていた。 ロール両端のボルトをはずして交換 しようとした際、ロールが転がり落ちて、左手の薬指を挟んだ。 | 30 | 139 | 7 | 100 ~ 299 |
| 2017 | 2 | 7~8 | 夕刊配達中に、バイクで交差点で右折待ち停車中、相手方の軽自動 車が追突してきた。 その衝撃で転倒し受傷した。 | 54 | 522 | 14 | 100 ~ 299 |
| 2017 | 2 | 8~9 | 工場内で木材をカットする機械を使って木材をカットする作業をしている時に、丸のこ機械が動作している際中であったが、カットしなければならない木材が上手く機械にセットされなかった為、左手で端部を押さえた際に機械に指先が挟まれそのまま回転する丸のこに左手中指、薬指、小指を切断されてしまった。 | 54 | 131 | 8 | 10 ~ 29 |
| 2017 | 2 | | 破損した設備の補修溶接作業を行っていた。 「熱い」と感じたので、足元を確認したところ、溶接の火花が作業服(ズボン)に引火しており、急いでズボンを脱いだが火傷していた。 | 29 | 332 | 11 | 100 ~ 299 |

| 2017 3 | 18~19 | 営業先の駐車場で建物に向かって歩いている途中、道の上で足が滑 り転倒した。 | 53 | 719 | 2 | 50 ~ 99 |
|--------|-----------|--|----|-----|---|---------------|
| 2017 3 | 14~15 | 単板置場で単板の検品作業中、60cm程の高さに積まれた単板をリンギの上に置こうとした時、手が滑って足の上に落とした。 安全靴を履いていなかった為、足の甲を骨折した。 | 67 | 522 | 4 | 10 ~ 29 |
| 2017 4 | 1~2 | 合板工場加工機にて、品種切替のため自動供給装置始業調整をしていた。 該当する箇所の位置付近に脚立を利用し、高所で作業をしていたところ、脚立がグラつき不安定になったため、咄嗟に右手を機械設備にかけた際、自動供給装置と駆動シリンダー部分に挟まれ、薬指尖端を挫傷する。 | 57 | 169 | 7 | 50 ~ 99 |
| 2017 4 | 18~ 19 | 工場構内に於いてチッパー室の掃除中、剥芯チッパーの入口を横になった剥芯が塞いで挿入口コンベアに剥芯が溜まっていることに気付いたので挿入コンベアを停止してチッパーの入口を塞いでいる剥芯を手で取り除こうとしたが、掴んだ剥芯が回転したままだったチッパーに触れたため弾かれて右手をガイドに強く打ち付け被災した。 | 41 | 139 | 6 | 100~ |
| 2017 5 | 14~ 15 | 資材置き場の倉庫にて、既設資材の取り出しをしている際、長さの 異なる桟木(さんぎ)が積み上げられている中から一番上に積まれ ている桟木をフォークリフトで取ろうとしたがフォークリフトのツ メが届かなかったため、桟木の山に登って(地面から1.5m程度)手 作業でフォークリフトのツメに桟木を載せようとしたところ、桟木 の山が崩れそうになったので慌てて桟木を押えた。 その際にバラン スを崩してしまい、左脇から地面に落下した。 事故の原因は、本来 であれば桟木をフォークリフトで組み替えて取り出せばよいとこ ろ、作業を省略しようと桟木の山に登ってしまったことにある。 | 45 | 222 | 1 | 1~9 |
| | | ウェルダーのシュレッダーに向かうコンベアに単板が引っ掛かって いた。 本来は棒などで押さえて流しているが、被災時は単板が大量 | | | | 10 |

| 2017 | 5 | 1~2 | に詰まっていたため、足で押さえて流そうとした。 その際コンベア 機の鉄板に一度右板をのせようとしたら足が滑り、バランスを崩し | 18 | 224 | 8 | ~ |
|------|---|--------------------|---|---------------------------|-----|---|--|
| | | | て左太ももが鉄板に当たって切った。 | | | | |
| | | | 本人が夜勤明け退勤の為、職場より事務所棟へ向かおうとした際、 | | | | |
| | | | 同職場で日勤担当の外国人実習生が、職場から置き屋根倉庫へ | | | | 50 |
| 2017 | 6 | 6~7 | フォークリフトで製品を運搬するタイミングで、禁止されている二 | 24 | 222 | 7 | ~ |
| 2017 | | 0 -7 | 人乗りをした。 外国人実習生が運転するフォークリフトが置き屋根 | | 222 | | 99 |
| | | | 倉庫前で一旦停止し、本人が降車したところ、急発進したフォーク | | | | |
| | | | リフトの後輪に右足が巻き込まれる形で轢かれた。 | | | | |
| | | | ベニアレース(原木を大根のカツラ剥きの様に薄く切削する機械) | | | | |
| | | 11. | のナイフ(刃渡り約220cm、重さ約60kg)を交換する為、移動台車 | | | | 100 |
| 2017 | 6 | 11~ | にナイフを載せて反転させた時に、台車の溝に上手く入らず、治具 | 38 | 139 | 8 | ~ |
| | | 12 | を使用して直す際に足を滑らせ、左手がナイフカバーに接触し、カ | | | | 299 |
| | | | バーが外れて刃先に左腕(手首下)が当たり切れた。 | | | | |
| | | 17~ | | | | | 30 |
| 2017 | 6 | 18 | 駐車場内にて歩行中、後からバック走行の車に当てられ負傷した。 | 65 | 231 | 7 | ~ 49 |
| | | | 納品作業をしているときに、入り口フェンスの鍵を開けようとした | | | | |
| | | | が、暗くて見えないため、鍵を開けることが出来なかったため、腰 | | | | 50 |
| 2017 | 7 | 19 [~] 20 | 高のフェンスを飛び越え敷地内の進入しようとしたが、着地に失敗 | 20 | 419 | 3 | ~ |
| | | | し左足首負傷した。 | | | | 99 |
| | | | 当社作業場にて、資材をユニックを使用して積み込み作業をしてい | | | | 10 |
| 2017 | 7 | 15~16 | た際、位置を合わせるために後退した時、配置してあった敷角につ | 77 | 221 | 1 | ~ |
| | | | まずき荷台から転落し、全身を強打した。 | | | | 29 |
| | | | 13SCドライヤーのロール交換をし、二人でロールを移動しようとし | | | | |
| | | | た。 選別台から階段を下りて下に運ぶ際、狭いためロールを仮置き | | | | 100 |
| 2017 | 7 | 16~17 | して階段の上下に分かれようとした。 その際、ロールを仮置きした | かれようとした。 その際、ロールを仮置きした 26 | 521 | 6 | ~ |
| | | | 場所が不安定だったためロールが転がり落ち階段下に降りようとし | | | | 299 |

| | | | た被災者の右手中指に当たり、骨折した。 | | | | |
|------|----------|--------------------|-----------------------------------|----|-----|----------|-----|
| | | | 木材の最終検品段階でのナンバリング作業中、少し遠くにある木材 | | | | |
| | | | に貼られているシールのナンバリングが届きにくかったので、木材 | | | | 100 |
| 2017 | 7 | 16 [~] 17 | が自動的に昇降するリフターの横のレールに右足をかけていたた | 50 | 169 | 7 | ~ |
| | | | め、自動的に降りてきたリフターとレールの間に右足を挟まれ負傷 | | | | 299 |
| | | | した。 | | | | |
| | | | 木工所で木材加工中に誤って指を入れ、左手小指以外の4本を第二関 | | | | 10 |
| 2017 | 7 | 14~15 | | 62 | 131 | 8 | ~ |
| | | | ある と 97時 と 107 と。 | | | | 29 |
| | | | 会社敷地内において枠組壁工法に使用する木材をフォークリフトの | | | | |
| | | 17~ | 爪先にのせ、3m程移動作業中上記材が倒れる可能性があるので手で | 33 | | | 30 |
| 2017 | 7 | II I | 押さえながら移動を試みたがフォークリフトで台木より10cm程持ち | | 222 | 5 | ~ |
| | | | 上げて移動して置く時に荷がくずれてしまい、押さえていた足にく | | | | 49 |
| | | | ずれて怪我をした。 | | | | |
| | | | 夜勤勤務中、原木を薄く切削した単板が堆積する機械で、単板が堆 | | | | |
| | | | 積する下に敷板(1m×2m、重さ約18kg)を敷こうとしたところ、 | 25 | | | 100 |
| 2017 | 7 | 2~3 | 敷板が高さ160cm位高く積まれていた。 下に降ろすときに手前に傾 | | 522 | 4 | ~ |
| | | | けたため、右足の上に敷板が落下した。 狭い場所で避けることがで | | | | 299 |
| | | | きなかった。 | | | | |
| | | | 工場内おいて、ダボ打ち機を使い、木材(10cm四方)の加工中、同 | | | | 10 |
| 2017 | _ | 14~ | 材に左手を添えて木材を押さえるためワークボタンを押したとき、 | 34 | 120 | 7 | ~ |
| 2017 | ' | 15 | 下降してきたクランプと木材の間に誤って左示指を挟んでしまい負 | | 139 | ' | 29 |
| | | | 傷した。 | | | | 29 |
| | | | ツールボックスミーティング後、差し口リフターのピット内清掃作 | | | | |
| | | 16~ | 業を行うため、リフターを上げてピット内に下り、ストッパーを | | | | 100 |
| 2017 | 7 | 17 | セットした。 その後、清掃道具を取りに一度ピット外に上がり、再 | 43 | 418 | 1 | ~ |
| | | ' | びピット内に降りる際に立ちくらみがして、約40cmの高さからピッ | | | | 299 |
| | | | ト内に転落した。 | | | | |

| | = - | | | = | | | - |
|--------|-------------|-------------------|--|----|-----|----|---------------|
| 2017 7 | 7 | 21~ 22 | 生産時、工場のドライヤー差し口(単板を機械に挿入する所)において、敷き定板をリフターに載せる際、2枚重ねで載せたときに定板がずれてしまい、不安定な体勢のまま足で押したため、足を負傷した。 | 51 | 921 | 19 | 50 ~ 99 |
| 2017 7 | 7 [| 9~ 10 | スライサー工場(カベブロック検査場)南側出入口において、敷板(6mm×2mm×9mm)を2名で運んでいた。 その際、被災者は後ろ向きで、後ろが見えない状態のまま運んでいたため、バランスを崩して出入口横の高さ30cm深さの溝に落ち、左足踵を突っ込んだ。 | 63 | 418 | 1 | 5 ~ |
| 2017 9 | 4 | 1~ 5 | 上記日時、いつもの通り、フォークリフトにて工場敷地内の坂の上にある資材置き場から、坂の下にある羽柄材加工場へ羽柄材(建築に使う木材の一種、3000×45×90、180本)を運搬中、坂の途中で両サイドに停車中の車との車間が狭く感じ、ぶつかると思い、停車中の車を避けるために右に急ハンドルを切った折、ブレーキ操作を誤り、フォークリフトごと道路脇の段差より道路外へ転落し、テント製品置き場に衝突、フォークリフトに体をぶつけ、鎖骨を骨折したものである。 | 47 | 222 | 3 | 5 ~ |
| 2017 9 |) ∥ | 14 ~ 15 | 工務店置場で片付け作業をしていた、トラックの荷台を片付けていて降りる時に勢いよく降りたら右足を挫いた。 その日は何ともなかったが2日後、痛くなってきたので病院へ行ったら骨折していた。 | 19 | 221 | 3 | |
| 2017 9 | 9 ∥ | 16 ~ | 糊を撹拌中の攪拌機に、椅子の合板に利用する糊をとりに行った際に負傷。 撹拌機内側の上部にこびりついた糊を取ろうとしたのが、右手を入れ、回転している心棒の糊にアームカバーが付き、右腕が心棒の回転にひっぱられ、腕が変形した模様である。 | 64 | 162 | 7 | 3 |
| 2017 1 | 10 | 11~ | 休憩のため徒歩で移動中、機械設備に付属されている、直径36×長さ220mmのボルトに、右太腿外側を接触する。 その後、軽度の痛みはあるも通常業務、生活に支障はなかったが、打撲した箇所に激痛と腫れが生じた。 | 23 | 224 | 3 | 3 |

| 2017 | 10 | 15~ 16 | 工場内で、電動ドリルで、木材に穴を開けていた時ドリルの刃が木 材の硬い所(節)にかんでしまい、ドリルの回転が止まったと同時 に電動ドリル本体が回転し、支えていた右手首を捻り骨折負傷し た。 | 69 | 139 | 19 | 30 ~ 49 |
|------|----|-----------|--|----|-----|----|-----------------|
| 2017 | 10 | 14~ 15 | 住宅用建材を現場に配送するため、2tトラックで運転中、河口から8.2km地点において、西から強風にあおられて、ハンドルを取られ、 道路左脇の堤防斜面に外れてトラックが横転し、右肩と頸椎を負傷 した。 | 20 | 221 | 17 | 10 ~ 29 |
| 2017 | | 9~ 10 | 弊社プレカット木材加工事業部の工場内において朝礼及び作業打ち合わせ等が終わり各自、作業ラインに着こうと移動している時に加工する材を用意して、積み上げていた木材につまずいてしまい荷崩れをおこし1m位の高さから、木材が足の上に落ちて右足の親指を負傷させてしまった。 本人の咄嗟の判断ミスを深く反省している。 | 34 | 522 | 4 | 10 ~ 29 |
| 2017 | 11 | 0~1 | 2号ドライヤー上段の詰まり検知が作動し、ドライヤー機内を確認したところ5段目のロールダクトが外れていた為、手直しをする作業を行った。 作業が終了し全員で再始動することを確認した、各自点検場所に移動したが、少し遅れた作業者が点検場所に登ろうとした際、回転中のドライヤー駆動部に手を掛け左右の指がスプロケットに巻き込まれた。 | 61 | 342 | 7 | 100 ~ 299 |

出典:<u>https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx</u>(職場のあんぜんサイト)

Return to: https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html